農村經濟學

田原春次

農村經濟學を話すには皆樣の手許に渡したプリントでは適切でないと思ひますが大体之に據つて話を進め度いと思ふのでありますが先づ最初に申上け度い事は小作料輕減を目標として闘つて行かなければならぬ事です。

工場に働く勞働者が自己の生活權を守る爲め勇敢に闘つて居る樣に然るに勞働者が勞働爭議に勝ち小作人が小作爭議に勝ち得たならば一應は勞働者農民の生活が良くなる樣であるけれども矢張り勞働者小作人は勞働者小作人であつて勞働者が資本家に小作人が地主になる事は絶對にない、只吾々の生活をどれ丈けか良くする程度のものであります。

私は關係のある農村に就いてのみ話しますが、マルクスの經濟學より取つた私の話が單に農村の經濟問題のみを話すのは可笑いの

財團法人 協調會福岡出張所